



●イギリス

「イングランド健康調査2005」に見る
英国の高齢者の健康状態

本年3月、英国の国立社会教育センターと王立自由医科大学による「イングランド健康調査2005 (Health Survey for England 2005)」の内容が発表された。2005年度はこの調査の第16回目にあたり、高齢者の健康を特集している。調査地域は英国全域ではなくイングランドに限られている。調査対象は在宅の65歳以上の高齢者である。調査期間は2005年の1月から12月で、質問票の郵送と看護師の訪問によって回答を得ている。調査結果は政策形成のための資料として利用される。

なお、2004年のイングランドの平均寿命は男性76.9歳、女性81.2歳で英国全体よりも若干長く(英国全体ではそれぞれ76.6歳、81.0歳)、高齢化率は2003年でイングランド15.9%、全英16.0%である。英国の高齢者介護の総合指針である2001年の「高齢者のための全国サービス・フレームワーク(National Service Framework for Older People)」によるとNHS(National Health Service = 公的医療制度)の資金の40%、ソーシャル・サービスの50%が高齢者のために支出され、病床の3分の2を65歳以上の高齢者が使用していると報告されている。

以下にいくつかの調査結果を紹介し、併せて日本における類似の調査結果も参考のために挙げてみたい。もとより調査の方法や質問内容、さらに分析方法も異なっているので、安易な比較は慎まなければならない。あくまでおおよその傾向の比較としてご覧いただきたい。

「イングランド健康調査2005」(65歳以上)と日本の各種調査との比較

■ 主観的健康度 (N=4,268/%)

	Very Good	Good (健康計)	Fair	Bad	Very Bad
英国 男性	20	38 (58)	30	9	4
女性	19	37 (56)	32	9	3

日本で類似の質問をしている2005年度「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」では60歳以上の男女計で、「健康である」64.4%、「あまり健康であるとはいえないが、病気ではない」29.9%、「病気がちで、寝込むことがある」5.2%、「病気で、一日中寝込んでいる」0.5%となっている。

■ 通院、入院 (N=4,265/%)

	通院	入院	病院に行っていない
英国 男性	53	15	45
女性	49	15	49

2004年「国民生活基礎調査」では通院者率(1,000人当たりの通院者の割合)は65歳以上の場合、男性626.2、女性646.9となっている。日本は通院者が多いといえるだろう。

■ 糖尿病 (N=4,264/%)

年齢(歳)	65-69	70-74	75-79	80-84	85以上	65以上計
英国 男性	15	11	14	9	9	13
女性	11	11	13	16	7	12

医師から「糖尿病(diabetes)」と診断されたことを調査対象者が申告している。

日本* 男性 107.2 103.6 100.3 89.4 60.5 99.9

女性	64.3	70.6	74.4	67.8	53.9	67.4
----	------	------	------	------	------	------

*は、2004年「国民生活基礎調査」の傷病・年齢別通院者率における「糖尿病」の通院者率。

■ 狭心症、心筋梗塞 (N=4,264/%)

年齢(歳)	65-69	70-74	75-79	80-84	85以上	65以上計
英国 男性	12	16	17	17	12	15
女性	5	6	6	10	14	7

医師から「心臓発作(heart attack)」と診断されたことを調査対象者が申告している。

日本* 男性 50.4 72.3 85.3 89.3 79.7 69.8

女性	30.1	42.4	59.4	67.7	66.6	48.6
----	------	------	------	------	------	------

*は、2004年「国民生活基礎調査」の傷病・年齢別通院者率における「狭心症・心筋梗塞」の通院者率。

■ 肥満 (N=3,264、BMI≥25/%)

年齢(歳)	65-69	70-74	75-79	80-84	85以上	65以上計
英国 男性	77	74	72	64	51	72
女性	75	67	66	67	55	68

BMI (Body Mass Index) は体重(kg) ÷ 身長(m)²。標準値は22.0。上の数字は「太りすぎoverweight (BMI over 25 to 30)」「肥満obese (over 30 to 40)」「病的肥満morbidly obese (over 40)」の合計の%である。

イギリスで大きな社会問題となっている肥満は高齢者の場合も深刻である。2004年「国民健康・栄養調査」によると日本の高齢者の場合BMI≥25の割合は、男性29.7%(60-69歳)、25.5%(70歳以上)、女性はそれぞれ29.9%、26.7%なので、大きな隔りがある。

■ 血圧 (N=2,691/%)

年齢(歳)	65-69	70-74	75-79	80-84	85以上	65以上計
英国 男性	137.0-74.9	138.4-71.7	138.3-70.9	138.2-68.5	140.9-66.7	138.1-71.7
女性	136.2-74.7	138.2-73.3	141.1-71.4	142.9-70.6	142.3-68.1	139.6-72.2

上段の数字が収縮期(Systolic、最高)血圧、下段が拡張期(Diastolic、最低)血圧。

2004年「国民健康・栄養調査」では日本の高齢者の場合、男性60-69歳で140.0-84.6、70歳以上で140.5-81.0、女性はそれぞれ134.3-80.4、140.5-77.1である。日本の男性高齢者は高いといえる。

■ 社会参加「継続的ではないが何らかの団体活動に参加している」

(N=4,260/%)

年齢(歳)	65-69	70-74	75-79	80-84	85以上	65以上計
英国 男性	59	52	54	59	59	56
女性	52	46	50	56	60	52

2003年度「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」によると、「この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている何らかの活動に参加したことがあるか」との問いに対して「ある」と答えた60歳以上の高齢者は男性54.8%、女性52.6%であった。傾向はほぼ一致している。